

世界を深く
読むため

毎月末発売

602

新たな知をリードする

【知の新書】

田中俊徳

自然保護と平和構築

「地球」を世界遺産にする

戦争は、自然保護の立場からすれば、最大の敵である。

自然災害とは異なり、戦争は人類が引き起こす悲劇であり、平和の鍵を握るのもまた人類である。「自然保護」を梃子として、領土問題を解決した人類史上初めての事例を紹介した上で、SDGsを超える概念として「地球を世界遺産にする」ことを提唱する。戦争、疫病、気候変動、生物の大量絶滅・・・すでに危機に瀕している地球を守るため、「地球条約」を創ることができるのか。

平和の構築が、自然保護に貢献し、また、自然保護の理念が平和の構築に貢献しうる。
平和を構築する手段として、「国境を越えた自然保護」の重要性を説く。

本書を、ロシア軍の暴挙に苦しむウクライナの人々、戦争被害者、平和を希求するすべての人々に捧げる。

2022年5月30日発売

文化科学高等研究院出版局

ehescjapan.com を参照

内容



第一章 国境を越える自然保護区
第二章 「朝鮮半島」非武装地帯を平和の砦に
第三章 「ヨーロッパ」鉄のカーテンからグリーン・ベルトへ
第四章 「世界最大の干潟」ワッデン海における国際協力
第五章 「渡り鳥」多国間協力によるネットワーク
第六章 「海域の保全」ミクロネシアの挑戦
第七章 「コスタリカ」環境と平和、生態系サービス
第八章 「奄美・沖縄」県境を越えた自然保護区
終章 「地球を世界遺産に」サステイナビリティは二一世紀の文明たり得るか？

192 ページ 新書
定価 1430 円 (本体 1300 円 + 10% 税)
ISBN 978-4-910131-32-0
C0230

田中俊徳 (たなか としのり)

1983 年、鹿児島県生まれ。
九州大学アジア・オセアニア研究教育 機構 准教授。
専門：環境政策・ガバナンス論。大阪大学文学部で歴史学を学んだ後、京都大学大学院地球環境学舎で環境政策を専攻(博士/地球環境学)。北海道大学大学院法学研究科特任助教、東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授を経て、2021 年 4 月より現職。ユネスコ本部世界遺産センター及びユネスコ日本政府代表部にて在外研究。主たる著書として「森のめぐみと生物文化多様性」(森林文化協会/編著)、「環境問題と法」(法律文化社/分担)、「国立公園論」(南方新社/分担)など。主たる論文として「自然保護官僚の研究：技術官僚論に対する新たな視座」(年報行政研究/日本行政学会)、など。



書店からの注文は「RC」
書店からの注文は「RC」
fax.03-3294-2177

文化科学高等研究院出版局 tel.03-3580-7784 fax.03-5730-6084

自然保護と平和構築

「地球」を世界遺産にする

田中俊徳

定価 1430 円

新書

書店名

部数

ISBN 978-4-910131-32-0 C0230 ¥1300E

【赤版、青版、緑版：全て 1430 円】

- | | |
|---|---|
| 001 山本哲士 甦えれ 資本経済の力
文化資本と知的資本 | 007 河北秀也 場所のここるところことば
デザイン資本の精神 |
| 002 矢野雅文 科学資本のパラダイムシフト
パンデミック後の世界 | 008 坂井秀夫 歯は人生を左右する |
| 003 松下和夫 気候危機とコロナ禍
緑の復興から脱炭素社会へ | 009 山本てつし 007/ジェームズ・ボンド論 |
| 004 吉本隆明 超資本主義の現在 | 010 山崎正純 現代日本文学の考古学 |
| 005 浅利 誠 ジャック・デリダとの交歓 | 011 藤原/山口華文/狩野嘉宏/秀勝 日本文化を奏でる竹笛 |
| 006 ボルトンスキー 道徳判断のしかた
告発/正義/愛/苦しみと資本主義の精神 | 012 橋本純一 スポーツ観戦空間論
B11 村瀬永有 ホスピタリティ・オペレーション
B12 山本 新しい資本主義と企業・暮らしのイノベーション
G01 琴寄政人 大震災・原発事故からの復活 |

既刊新書

知の新書 SONDEOS

A01 吉本隆明 心的現象論・本論 784 頁 3960 円

A02 ミウクライナの大家 家 ハイル・ブルガーコフ作品集 256 頁 1980 円